



**四季菜来店者50万人突破**  
**地元野菜や魚 新鮮、安全、おいしー!**  
 1月17日、農産物直売所「四季菜」の来店者数が、50万人を突破しました。平成16年12月の開店以来2、124日での達成。50万人目となった杉本佳子さん（西大道）に、南条農産物等直売組合の山本久和組合長から、白菜やホウレン草、干しカレイなどの詰め合わせが贈られました。杉本さんは「野菜や魚が新鮮でおいしい。地元でとれたものが売られているので安心して食べられるのも魅力。思ってもみなかったプレゼントでうれしい」と顔をほころばせました。



**女性消防隊活動資機材贈呈式**  
**災害に強い地域づくりを!**  
 1月21日、南越消防組合南消防署で女性消防隊活動資機材贈呈式が行われ、瀬戸婦人自警消防隊へ消防ポンプなどが贈られました。  
 式には、瀬戸区長をはじめ瀬戸婦人自警消防隊員など9人が出席。出席者を代表して、安藤恵婦人自警消防隊長が「災害時には頂いた資機材を使って速やかに行動し、安心して暮らせる災害に強い地域づくりに尽力します」とお礼を述べ、今後の活動への決意を新たにしました。  
 この資機材は、宝くじの普及広報を目的とした助成金により、(財)日本消防協会の事業で整備されたものです。



宝くじは  
 豊かさ強く  
 チカラ持ち。



雪で閉ざされた生活道路

**記録的大雪**  
**降り続いた雪 南越前町に大きな被害**  
 1月30日から31日にかけて、福井県内は各地で雪が降り続き、南越前町も記録的な大雪に見舞われました。県内の大動脈である国道8号や北陸自動車道は町や敦賀市を中心に通行止めとなり多くの車が立ち往生。さらにJR北陸線は運休し、今庄駅などでは列車が動けなくなりました。また、今庄地区では、昭和56年の観測開始以来最大となる25.1cmの積雪を記録、南条・河野地区も大雪となり、全小中学校が休校したほかビニールハウスの損壊や土砂崩れ、倒木など大きな被害を受けました。2月1日頃には、降雪が弱まり、まひ状態となっていた交通網が次第に復旧。しかし、町内では多くの人が、家や生活道路をふさぐ雪山の除雪作業に追われました。



JR今庄駅で動けなくなった列車



車が埋もれるほどの雪はまさに河野地区



背丈を超すほどの屋根雪



急ピッチで進められた除雪作業



**羽島若獅子駅伝競走大会**  
**たすきをつないで…駅伝で交流**  
 2月11日、町と友好提携を結んでいる岐阜県羽島市で第22回羽島若獅子駅伝競走大会が開かれ、南越前町から南越前町A・C（アスリートクラブ）が出場しました。羽島市とは、文化、教育、産業など色々な分野で交流を深めており、その一環としてこの大会にも毎年参加しています。  
 大会は、全長17.2kmを7人でたすきをつなぐコースで行われました。南越前町A・Cは高校生以上の一般男子の部に、今回は2チームが参加。19チーム中、それぞれ1時間00分37秒で2位、1時間10分04秒で11位の結果を残しました。



**文化財防火デー火災防訓練**  
**万一の火災に備え対応を確認**  
 1月26日の文化財防火デーを前に、梅ヶ枝区の西念寺で1月23日、火災防訓練が行われ、南越消防組合南消防署員や南越前消防団員、梅ヶ枝区民ら約30人が参加しました。  
 訓練は、西念寺の庫裡に落雷があり出火したとの想定で実施され、区長による119番通報の後、区民らがバケツリレーで協力して初期消火を行い、本堂から文化財に見立てた箱を運び出しました。また、署員や団員は消防ポンプ自動車などで現場に到着すると、延焼を防ぐための放水を開始。本堂に取り残された文化財を搬出するなど、参加者らは万が一に備えての対応を確認し、防火意識を高めました。



**第19回I-MAJYO365CUP**  
**ジャイアントスラローム大会**  
**10町民スポーツ祭 冬季大会**  
**白銀の世界を果敢に滑走**  
 1月18日、25日に第19回I-MAJYO365CUPジャイアントスラローム大会が、今庄365スキー場で開かれました。この大会は、スキーの大回轉競技を楽しんでもらおうと2日間に行われ、2日間の合計ポイントでの順位やその日の成績、ベストラップを競いました。大会には、町内外の小4年生から74歳までの男女45人がエントリー。選手らは全長700m、高低差150mのコースで、旗門ぎりぎりのラインを取りながら白銀の急斜面を猛スピードで滑走していました。  
 また、2月4日には、10町民スポーツ祭冬季大会スキー競技も開かれました。開会式では、北村藤徳町体育協会会長が「ゲレンデのコンディションは最高です。慣れ親しんだコースで、自己ベストを出せるよう頑張ってください」と選手を激励。選手を代表し、河野地区の濱野殿則さんが力強く宣誓しました。この大会は、地区対抗種目8部門、オープン種目8部門を設け、小学1年生から55歳までのスキー愛好家32人が出場。スキーを始めたばかりの選手は、確実に旗門を通過するよう丁寧な滑りでゴールを目指し、上級者は鋭いエッジングで果敢な滑りを披露しました。競技の結果、地区対抗種目では今庄地区が優勝し、賞状とカップが手渡されました。